

エンパワーするNGO



京都 YWCA

7
2025

YWCAは、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

人権のふるさとを訪ねて

～水平社博物館訪問記～

薄曇りの空が広がる5月30日（土）、平和・環境活動委員会主催で奈良県御所市にある水平社博物館へフィールドワークに出かけました。

1922年、被差別部落の人々が差別からの解放をめざして結成した全国水平社。その創立宣言である水平社宣言は「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と人間の尊厳と平等をうたいあげています。この水平社創立の中心的存在となったのが、現在博物館のある地域の青年たちでした。水平社博物館は彼らをはじめ、多くの人々が差別に抗い、平和と人権の確立をめざした運動の歴史を伝えるための博物館です。

当日、参加者14名は橿原神宮駅で集合し、神宮近くの瀟洒なレストランで昼食をとりました。その後2名の参加者も合流し、路線バスで博物館へ。小型のバスはツアー一行の貸切状態で、わいわいがやがや、遠足に行くような雰囲気でも博物館へ到着しました。

博物館のガイドさんの話によると、この地域の被差別部落は江戸時代、牛馬処理の仕事を担い、^{にかわ}膠を作る産業が発達した比較的裕福な部落でした。しかし、解放令により、身分制度が解体したはずの明治期でも、地域にあった部落の子が通う小学校と部落外の子が通う小学校の統合に、部落外の住民の反対で9年もかかってしまうという差別の実態があったそうです。水平社宣言の起草者として有名な^{さいこうまんきち}西光万吉も差別が原因で地元の進学校を退学し、画家を志して上京しても、差別される不安に苛まれていたそうです。

しかし、帰郷後、地元の仲間と消費組合で、社会問題に取り組む「燕会」を結成し、これが水平社へと発展し、水平社

の運動は瞬間に全国に広がりました。博物館の展示では、運動に関わった人たちの写真や水平社のシンボルである荊冠^{けいかん}旗、水平社大会のポスターや報告記事などが展示されていました。また、漫画『ワンピース』などで描かれた差別なども展示し、「何が差別なのか」ということを多くの人に伝えようとしていました。

部落女性への差別にも思いを寄せて

残念ながら名前や写真で見るとはほぼ男性なのですが、その中で「婦人水平社」に関する説明もありました。2023年度の2.11集会で、私たちは鶴岡弘美さん（部落解放同盟大阪府連合会女性部長）から部落の女性たちが1923年に婦人水平社を立ち上げたこと、しかし家族の生活を支えることに必死な中で、女性たちの活動が広がらなかったこと、男性主導の運動に呑み込まれていったことを伺いました。部落差別と女性差別による「二重三重の差別と圧迫」を訴えた100年前の女性たちの存在と覚悟をきちんと歴史に刻まなければならない、そしてそれが現在も続いている現実を解消したいと思った、その時の私たち平和・環境活動委員会の振り返りが今回のスタディツアーにつながっています。

館内を巡った後は博物館近くのゆかりの場所を歩きました。地域改良事業で地区の景観もすっかり変わっているとのことでしたが、人間の尊厳を訴えた人たちの情熱が、この静かなまちの土壌になっているように思えました。

（今井 貴美江）



水平社宣言記念碑の前で記念撮影



ガイドさんの説明を聞き、学びを深めました

YWCA が大切にしてきたことを分かち合う ～世界 YWCA デーを大阪 YWCA と共催～

世界 100 以上の国と地域に広がる国際 NGO として活動する YWCA では、毎年 4 月 24 日を「世界 YWCA デー」として、平和の実現に向けた社会変革に取り組んできた YWCA の一員であることをお祝いしています。京都 YWCA では、4 月 26 日に大阪 YWCA と共催で「世界 YWCA デー」の集いを実施しました。

京都 YWCA と大阪 YWCA は日本 YWCA から助成を受け、地域や団体の枠を越え協働して展開する社会貢献活動 (Local Action = 以下 LA) にこの 2 年間参加しました。京都 YWCA は横浜 YWCA および福岡 YWCA と「多様な人々が集う居場所づくり」、大阪 YWCA は沖縄 YWCA と「女性の人権とジェンダー」の課題を考える取組をしてきました。それぞれの内容は異なるけれど、背景にあるものは「YWCA が大切にすること」という点で一致しており、それを世界 YWCA デーで分かち合うことにしました。

京都 YWCA からは「セーフスペース」というテーマから見る YWCA と、LA「多様な人々が集う居場所づくり」プロジェクトの成果物であるセーフスペースガイドブックの紹介です。このガイドブックは「居場所」に携わるすべての人に向けたものです。内外のさまざまな団体とつながって得た気づきや学びを基に、どんな人にとっても必要

な安全・安心という居場所の前提であるセーフスペースについて、自ら考えていけるように工夫しました。

大阪 YWCA からは、沖縄と大阪で行ったフィールドトリップを通して、両地域に根強くある人権やジェンダーの課題と一緒に考えた経験が多くの写真と共に紹介されました。沖縄の基地問題、若年女性を巡る性風俗や妊産婦の問題は、大阪の一部の地域である西成・あいりん地区や生野コリアンタウンにおける、人権問題や、今なお厳然と残る戦争の負の遺産という点で重なります。

YWCA そのものが「つながり」によって成り立っているからこそ、YWCA が大切にしてきたテーマは一層多角的な視点でとらえられ、だからこそそれぞれの立場で課題解決に自分らしくアプローチしていけるのです。

(運営委員会)



YWCA らしくハイブリッドでつながりやすさを実現

うららかふえて パンランチ！



自立援助ホーム「カルーナ」事業部担当ランチの新たな試みとして、月 1 回 (原則第 1 火曜日) にパンランチを始めました。さて、初回の 4 月に向けて「どのパンをいくつか仕入れて、どんなメニューにするか、提供方法は？」等と、オリエンタルベーカリーさんのカタログとにらめっこしながら、あれこれランチのシュミレーションをするのは何とも楽しい時間でした。

4 月のメニューは「選べるパン 2 種、ミートボール、ミモザサラダ、水切りフルーツヨーグルト」でなんと 750 円！

次回もおいしいパンランチをご用意してうららかふえてお待ちしております！

(三上 彩)



パンは惣菜系と甘い系の 8 種類から選べます

子ども・若者の居場所食堂 Yここ Kitchen 「まちのへんなもの探したんけん Feel 度 Walk」をしました！

5 月、過ごしやすい日に「Feel 度 Walk」を行いました。講師は、子ども向けに知的好奇心を育むプログラムを行う「探究堂」代表の山田洋文さんです。3 グループに分かれて YWCA の周辺を 30 分ほど歩き、各自が面白いと感じたものを写真に収め、帰ってから厳選した 1 枚を絵に描きます。最後はみんなで共有！

着目する点は人それぞれで、同じものを見ていても想像したことがバラエティ豊かで、楽しいひとときになりました。自分自身が「面白い」と思うポイントに気づき、人それぞれの異なる視点、価値観に触れることができました。

(高橋 夏梨)



意識をして歩くと、いつもと違う景色が見えてきます

シリーズ

京都 YWCA 自立援助ホーム「カルーナ」10年の歩み (1)



京都 YWCA は設立以来、女性と子どもに寄り添った活動を行ってきましたが、児童福祉事業は未経験でした。2009 年より建物の改築と公益財団法人化を見据えた新規事業を協議していく過程で、外国人の支援活動 (APT) などからシェルターの必要性を感じ、若い女性をエンパワーする自立援助ホームを検討することになりました。虐待や子どもの貧困が社会問題化していながら、当時京都府内には女性の自立援助ホームがありませんでした。また、長年単身女性に住居を提供している中で、虐待を受けた高校生を支援したことなどから、自立援助ホーム運営は「容易ではないけれど、実現可能なミッションである」と捉えることができました。

2011 年以降、自立援助ホーム準備チームを作り、行政と連絡をとり、近隣のホームを見学したり、児童養護や福祉の専門家や社会的養護を受けた当事者から話を聞き、設立のための準備を重ねました。2013 年には京都 YWCA の「多世代多文化ふれあいコミュニティづくり」

が国土交通省のモデル事業に選定され、財政的な基盤ができました。2014 年に後援会を立ち上げ、全館の耐震補強を含む改修工事を終えて、リビングや台所、個室 6 室、緊急避難用の部屋など設備も整いました。入居者の「生活のしおり」からカーテンの色まで話し合い、ホームの名前は投票で「自立・旅立ち」の花言葉を持つ「カルーナ」に決まりました。

こうして、多くの人の支援と協力のもと 2015 年 4 月に 2 人の入居者を迎え、家庭や施設に居場所の無いおおもむね 15 歳から 20 歳までの女性のセーフスペースとなることを目指して「カルーナ」はスタートを切りました。

(平野 富希)



開設当初のカルーナのリビング

2025 年度加盟 YWCA 中央委員会に参加して

5 月 24 日、名古屋 YWCA ビッグスペースにおいて、2025 年度加盟 YWCA 中央委員会が、出席・陪席等 74 名が参加し開催されました。

午前中は 2024 年度日本 YWCA 関連事項や今年度の事業計画の報告、午後からは CSW69 (第 69 回国連女性の地位委員会) 派遣と地域 YWCA を主体とした活動 Local Action (LA) の報告がありました。京都 YWCA から LA「多様な人々が集う居場所づくり」の報告をしました。報告に先立ちアピールタイムがあり、そこで 2 年間の取り組みの成果物である「セーフスペースガイドブック」のアピールをしました。すると、嬉しいことに、全国 YWCA に送付しているにもかかわらず、東京 YWCA、沖縄 YWCA 等複数の YWCA からさらに所望したいとの申し出がありました。

午後には松山 YWCA 解散承認とウェブ会員についての 2 点の協議がありました。樋口さやか日本 YWCA 会長より解散の経緯説明の後、採決が行われ賛成多数で可決承認されました。解散を惜しむ多くの声の中、松山 YWCA 会長より挨拶があり「解散しても温泉に入ったり俳句を詠んだりしている場合ではない・・・」と苦しい胸の内にもユーモアを忘れず次に向かう姿勢を示されたのは素

晴らしいと感じました。松山 YWCA 会員の方々は今後、新設されたウェブ会員として地域を超えオンラインでつながる活動をされる予定です。ウェブ会員についての協議は①ウェブ会員制度の対象、②ウェブ会員制度 (案)、③地域 YWCA とウェブ会員とのつながり方について 9 グループで話し合いました。出た意見を全体で共有した後ウェブ会員の会費について採決を行い、賛成多数で可決承認されました。

日本 YWCA や地域 YWCA が大きな変化をしている中、京都 YWCA の向かう先は、と考えさせられた一日でした。

(三木 みや子)



地域連携事業の実施報告



京都 YWCA の名物を会場で販売しました



「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」事業へのご支援のお願い

京都 YWCA はさまざまな事業を通じて多様な人々がふれあう「多世代・多文化ふれあいコミュニティづくり」を進めています。これをさらに持続的・発展的に進めるために、ご支援をお願い申し上げます。ご寄付は事務所窓口にて、あるいは郵便振替、オンラインをご利用いただけます。



郵便振替 01080 - 9 - 1566

加入者名 公益財団法人京都 YWCA

オンラインでのご寄付はこちらから

<https://congrant.com/project/kyotoywca/4775>

活動を指定したご寄付等の詳細は事務所に問い合わせただくか、ホームページをご覧ください。

<http://kyoto.ywca.or.jp/support>



賛助員を募集しています！

賛助員となって京都 YWCA を持続的に支えていただく方を募集しています。以下のサイトからオンラインでもお支払いいただけます。

<https://congrant.com/project/kyotoywca/11953>

賛助費（年額）個人：5,000 円または 10,000 円

団体：10,000 円 / ー口



ご協力ありがとうございました

2025年4月1日から5月31日までの寄付者一覧（敬称略、順不同）

各指定寄付

* 法人支援

神岡茂子、匿名 1 名

* 親・子育て支援活動委員会

有田孝子、親子ライブラリー

* APT

ヘイナ啓子、安藤いづみ、神門佐千子、織田雪江、本田次男、田中順子、有田孝子、匿名 1 名

* 活動グループ

手話サークル

* 多文化共生委員会

織田雪江、泉谷直木、筒井奈都子

* ふれあいの「居場所」事業部委員会

若者就職支援まかない募金

* 平和・環境活動委員会

匿名 1 名

* あじさい保育園

古島瑠美

* 自立援助ホーム「カルーナ」

泉谷直木、鶴崎祥子、御前明美、近野玲子、井上依子、篠田茜、神門佐千子

* 子ども・若者の居場所「Yここ Kitchen」

齋藤大輔、本田次男

* 賛助費

斎藤豊子、橋本良子、吉原順子、日月公子

今後のプログラム

◎夏休み子どもディアウト「ガジュマルの樹」

小学生の皆さん、京都 YWCA で楽しい一日を過ごしませんか？

■日 時：8月22日（金）9：30～16：30

■内 容：ことばで世界を探検しよう、おもしろ科学実験

■場 所：京都 YWCA 本館 1 階

■対 象：小学 1～6 年生

■参加費：2,800 円（昼食、おやつ、プログラム材料費込み）

※プログラム前後に預り保育も有料で承ります。

■申 込：京都 YWCA 会館設置の申込書にご記入の上、受付にご提出ください。

■主 催：京都 YWCA 親・子育て支援委員会

シェアカフェ（委託）募集

京都 YWCA のヴォーリズ建築サマリア館にある居場所食堂「うららかふえ」で、京都 YWCA が委託して月曜日から土曜日の一日、ランチ提供を行ってくださる店長さんを募集しています。

お料理を作るのが好きな方、仲間と何かしたい方、将来お店を持ちたい方など、ご応募をお待ちしております。詳細は二次元コードからご覧いただくか、事務所にお問い合わせください。



おすすめ！

有吉佐和子著「非色」

河出文庫



『恍惚の人』、『複合汚染』などで知られる有吉佐和子の作品が最近注目されているが、人種差別問題を描いた傑作『非色』を紹介したい。

戦後、家族を養うため進駐軍関連の職場で働いていた主人公笑子は、黒人の進駐軍兵士と出会う。やがて「戦争花嫁」となりニューヨーク・ハーレムに移住する。夫は日本では進駐軍兵士としてアメリカの豊かさの象徴であったが、彼女を待っていたのはハーレムの貧困と黒人差別であった。笑子は東洋人妻として、ハンディを負いながら子どもを育て、たくましく生きていく。黒人社会にもある他の人種への偏見など、複雑な差別の構造が明かされる。本作は差別の問題を鋭く突きつけつつ、語り口にはユーモラスであり、一気に読める一冊である。

5・6月／理事会報告

- 5/12：京都 YWCA 高齢者住宅「サラム」の交流会として映画会（「穢れなき悪戯」）を開催
- 5/31：平和・環境活動委員会主催で水平社博物館訪問を実施（本誌 P1 参照）
- 6/11：「花の日」訪問として京都 YWCA あじさい保育園園児がお花を持って近隣地域を訪問

- 6/12：2024 年度監査を実施
- 6/28：評議員会を開催
- 7/1：2024 年度京都 YWCA 事業報告書を発行

KYOTO YWCA No.587 2025 年 7 月号（7月1日発行）

発行人：山中あかね

発行所：公益財団法人京都 YWCA

〒602-8019

京都市上京区室町通水上上ル近衛町44

電 話：(075)431-0351

F A X：(075)431-0352

e-mail：office@kyoto.ywca.or.jp

H P：http://kyoto.ywca.or.jp

郵便振替：01080-9-1566

口座名義：（公財）京都 YWCA

定 価：1 部 50 円

発 行：奇数月 1 日発行